

平成28年度
海上保安庁関係
補正予算概要

平成28年8月

海上保安庁

平成 28 年度

海上保安庁関係補正予算の概要

戦略的海上保安体制の構築等

(1) 離島・遠方海域等における法執行能力の強化		428 億円
ヘリコプター搭載型巡視船	新規 2 隻 (増強)	323 億円 <small>搭載機計 3 機含む</small>
大型巡視船	新規 1 隻 (増強)	67 億円
規制能力強化型巡視船	新規 3 隻 (増強)	20 億円
規制能力強化型巡視船	継続 2 隻 (増強)	18 億円
	<small>(平成 27 年度補正措置船の建造前倒し)</small>	
(2) 海洋監視能力の強化		138 億円
新型ジェット機	新規 1 機 (増強)	119 億円
映像伝送機能の強化 等		19 億円
(3) 海洋調査能力の強化		70 億円
大型測量船	新規 1 隻 (増強)	56 億円
既存測量船の高機能化		14 億円
(4) テロ対応を含む全国における法執行能力の強化等		34 億円
大型巡視艇	新規 2 隻 (代替)	18 億円
小型巡視艇	新規 1 隻 (代替)	5 億円
監視取締艇の購入	新規 5 隻 (代替)	2 億円
武器の老朽代替・施設整備 等		11 億円
(5) 航路標識整備		3 億円

海上保安庁補正予算 合計 674 億円

注 端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。

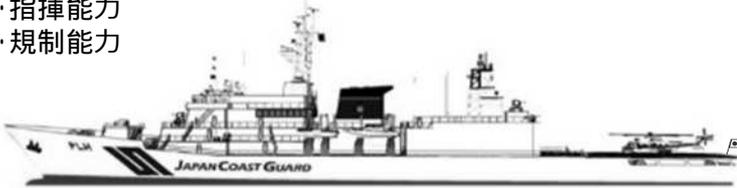
平成28年度補正予算から整備する船艇・航空機

ヘリコプター搭載型巡視船 (PLH型・増強) 高機能型

1隻/機あたりの単価

- 【特性】
- ・搜索監視能力
 - ・指揮能力
 - ・規制能力

約328億円
【船体約262億円・搭載ヘリ約66億円(1機)】

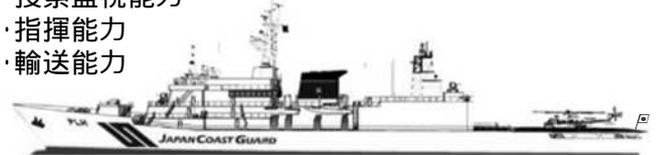


(総トン数 約6,500トン・全長 約150メートル)

ヘリコプター搭載型巡視船 (PLH型・増強)

- 【特性】
- ・災害対応能力
 - ・搜索監視能力
 - ・指揮能力
 - ・輸送能力

約298億円
【船体約172億円・搭載ヘリ約126億円(2機)】



(総トン数 約6,000トン・全長 約140メートル)

大型巡視船 (PL型・増強)

- 【特性】
- ・災害対応能力
 - ・搜索監視能力
 - ・規制能力

約144億円



(総トン数 約3,500トン・全長 約120メートル)

規制能力強化型巡視船 (PS型・増強)

- 【特性】
- ・追跡捕捉能力
 - ・規制能力
 - ・情報伝達能力

約23億円



(総トン数 約200トン・全長 約45メートル)

大型巡視艇 (PC23m型・代替)

- 【特性】
- ・災害対応能力
 - ・監視能力
 - ・情報伝達能力

約9億円



(総トン数 約65トン)

小型巡視艇 (CL20m型・代替)

- 【特性】
- ・監視能力
 - ・情報伝達能力

約4億円



(総トン数 約25トン)

新型ジェット機 (増強)

- 【特性】
- ・搜索監視能力
 - ・航続性
 - ・速力

約156億円

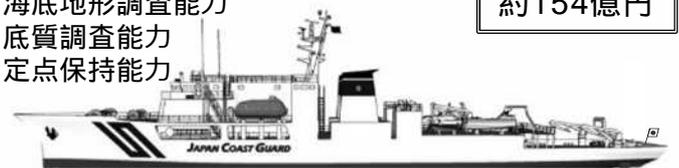


ファルコン2000LXS (全長 約20メートル)

大型測量船 (HL型・増強)

- 【特性】
- ・海底地形調査能力
 - ・底質調査能力
 - ・定点保持能力

約154億円



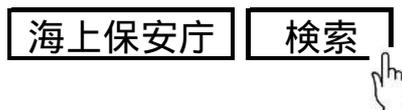
(総トン数 約4,000トン・全長 約100メートル)



愛します！守ります！日本の海

< 海上保安庁ホームページ >

<http://www.kaiho.mlit.go.jp/>



(この冊子は、再生紙を使用しています。)